

平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	国際貿易センター(ITC)拠出金(任意拠出金)			担当部局庁	経済局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度開始			担当課室	国際貿易課			課長 齋田 伸一	
会計区分	一般会計			施策名	国際機関等を通じた経済・社会分野に係る国際貢献に必要な経費				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省設置法第4条第2項 外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	ITCからの拠出要請				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	開発途上国が政府及び民間の努力を通じ適切な貿易促進策を作成・実施することに対する技術支援を行うこと。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	開発途上国の輸出振興のための技術的援助を行う目的で、WTO及びUNCTADの2国際機関の下に設立された国際機関である国際貿易センター(ITC)は、途上国の輸出産業振興支援の分野で大きな実績を有している。主に、輸出振興に不可欠な民間セクター育成のための案件実施に精通しており、アフリカ地域での経験も豊富であり、途上国やその他の国際機関からも高い評価を受けている。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	-	-	-				
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	7	7	15	10	7		
	執行額		7	7	15				
	執行率(%)		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	加盟国数を参考指標とする			成果実績	国	37	41	27	35
				達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	イアマーク事業の実施			活動実績 (当初見込み)	件	1	1	1 (1)	— (1)
単位当たりコスト	15,040,000円／1件			算出根拠	日本の拠出金(15,040,000円)／イアマーク案件数(1件)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	その他	9,520	6,740	拠出額減額					
	計	9,520	6,740						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	2010年は121の国又は地域において、その国・地域の政策立案機関・行政執行機関・民間企業を対象に196のプログラムを実施しており、途上国の輸出能力の向上での実績を上げている。我が国がイヤマールした「Ethical Fashion」案件も、西アフリカで製造した服飾品が欧州大手有名ブランドにおいて採用される等の実績を挙げている。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		提出額減額	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(提出額減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			